



い さ む
ち ゃ ん

桜 田 佐

(一)

とん、とん、とん、とん……
とん、とん、とん、とん……

だれか戸をたたいています。いさむちゃんはねどこからとびだして、いそいで戸をあけました。そして、

「だあれ？」

と、ききましたが、へんじがありません。だれだろうと思って、見まわしましたが、だれもないようです。

いさむちゃんはいそいで戸をしめて、ぶるぶると身ぶるいをしました。

「おお、さむい、さむい！」

そして、また、ねどこにもぐりこみました。

今日は十二月三十一日、大みそかの晩です。あしたはお正月で、おいしいおぞうにが食べられます。いさむちゃんはおぞうにが大すぎです。となりの部屋では、おとうさんとおかあさんがいろいろとお正月の用意をしています。

おとうさんはおそなえをかざったり、部屋をかたづけたりして

います。おかあさんはおそうじをすませて、今、お花をいけています。松に葉ぼたんをいけています。

いさむちゃんは三畳の部屋にひとりで寝ているのです。けれど、あしたはお正月だと思つと、なかなかねむれません。

とん、とん、とん、とん……

とん、とん、とん、とん……

また、だれか戸をたたいています。

いさむちゃんはねどこからとびだして、いそいで戸をあけました。いさむちゃんは大きい声で、

「だあれ？」

と、ききましたが、へんじがありません。

どうしたんだろうと思つて、見まわしましたが、だれもないようです。いさむちゃんはまたいそいで戸をしめて、ぶるぶると身ぶるいをしました。

「おお、さむい、さむい！」

そして、また、ねどこにもぐりこみました。

となりの部屋では、おとうさんとおかあさんがお茶を飲みながら、何か話をしています。いさむちゃんはじつと目をつぶっています。

るのですが、なかなかねむれません。

「早くお正月になるといいなあ！早くおそうじにが食べたいな！」

とん、とん、とん、とん……

とん、とん、とん、とん……

また、だれか戸をたたいています。

「ほんとに、だれかしら？」

いさむちゃんはまたねどこからとびだして、いそいで戸をあけました。そして、大きな声で、

「だあれ？」

と、ききました。やっぱりへんじがありません。

あたりをよく見まわしました。すると、戸の下のほうに何か小さなものが、じつとすわっています。

「あ、いた、いた。」

いさむちゃんは、

「そこにいるの、だあれ？」

と、ききました。

すると、白い小さなものが、小さな声で、
「ニャオー」

たいへんなさわぎです。

近よってみると、道の両がわに動物たちがずらりと並んでいます。

「さあ、どうぞこちらへ。」

と、たまちゃんのおかあさんらしいねこが、あんないしてくれました。

大きな屋根の家です。

広いひろい部屋で、下は

板敷きになっています。

いさむちゃんをまんま

かの小さな木の箱の前に

つれてくると、

「さあ、どうぞおかけ

ください。」

とたまちゃんのおかあさんが言いました。

さっきいさむちゃんをむかえてくれた

動物たちが、そろそろはいってききました。

大きな部屋ですから、みんなはいるこ

とができました。

がやがやさわいでいましたが、やがて

たまちゃんのおとうさんが、

「みなさんおしずかに。」

と言うと、ピタッとさわぎがとまって、

しずかになりました。

たまちゃんのおとう

さんが大きな声で言

いました。

「ことしのお客さんは

いさむちゃんです。」

みんな、「ウワー」と

言って、バチバチバチ

バチッと、はく手をし

ました。

(年少の組では二回に、年長の組では一

回に話してください)



幼児の教育

第五十八巻 第一号

◎ 定価五十円

昭和三十三年十二月二十五日印刷

昭和三十四年一月一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所
所 フレーベル館にお願いいたします。